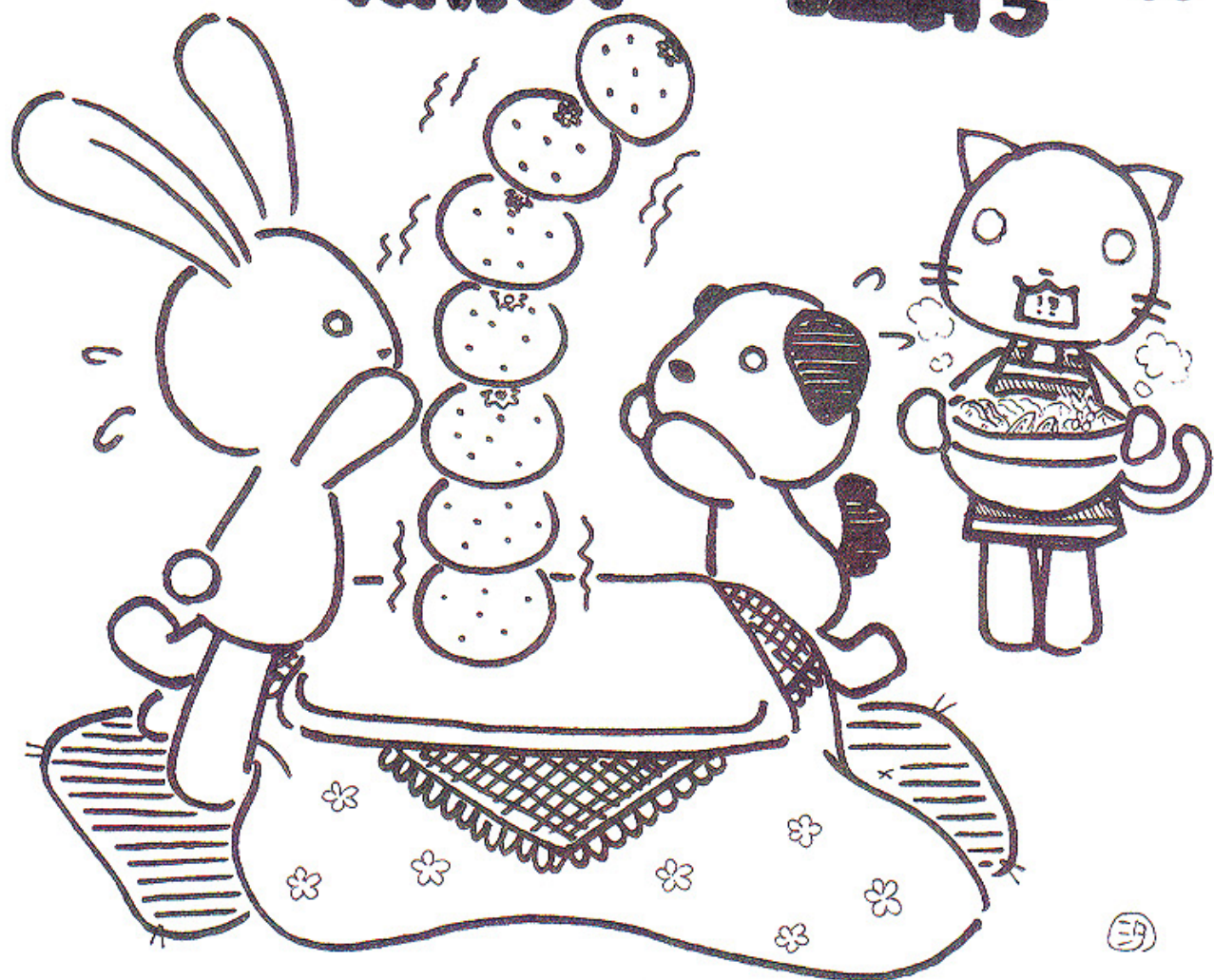


とよたち

美肌通信

Vol.101 12月号



* * * * *


December

* * * * *

とよ下ち 美肌通信 Vol. 101 12月号の
表紙は、冬といえど二たつ!!!

おいしそうな お鍋を準備している間に
うさぎさんと いぬさんが みかん 積み重ね
にチャレンジ中!! あ! 危ない! 倒れそう!
12月らしい ほっこりとする 素敵な絵です!

せつめん作りをする事が趣味で、

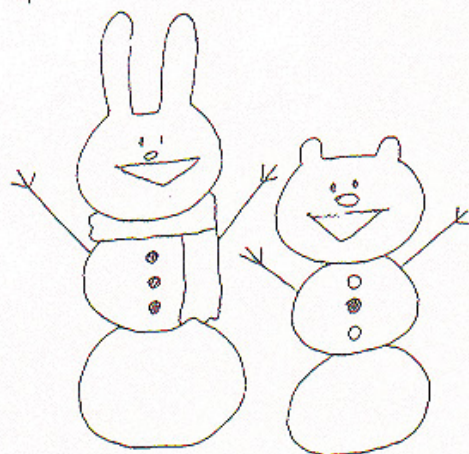
好きな食べ物は 親子丼 



絵を描く事が得意という事で、今年最後に
表紙をお願いしたのです!!

院長はじめスタッフ一同

バリエリ 感謝いたしませう



「あなたの尊敬する人は誰ですか？」誰もが
節目で幾度となく問われてきた言葉である。
何故他人はこの質問をするのだろうか。
恐らくその人物の性質や将来の方向性を推
測しようとしているからでしょう。
しかしそれとは別の意味がある様に思います。

尊敬する人が誰であることを知る事で、その
人物がどれ位自分自身を磨き、人間性
を豊かにしようとする気概があるか。
それを推し測る事が出来るからです。気概とは、
困難に立ち向かっていく強い意志のことです。
それには、根性・熱意・信念・不屈の精神、これ
らを持たなければなりません。

作家 渡部昇一氏が書いている。豊臣秀吉は織
田信長に文対して、あの人はすごい人だ、俺は
到底及ばないという謙虚な姿勢を素直に出し
て接していたと。そう記した上で次の様に
締めくくっています。人は心底尊敬した人物から、
知らず知らずのうちに多くのものを学ぶ。

師を心から尊敬している弟子は器量がどんな
に大きくなる。しかし師を批判したり、表面的
に奉るだけになると成長が止まる。私達は心
から尊敬できる人を見出すことで人格が磨か
れ人間が豊かになるのだと思う。

実は先に述べた気概の他にもう一つ必要なこと
がある。それは素直な心である。人生には素直な心
であってこそ気がつく事が数多く存在する。
素直でこそ、運命を切り開き人間性が高まり
豊かになると私は信じている。その為には我々は尊敬
する師を持つことが必要である。

「文字で心を洗い、心のノミで顔を彫る」。
これは作家の小島直記氏の言葉です。
文字というのはすばらしい言葉、つまり自師からの
教えとも言える。そのすばらしい言葉、教えで
自分の心を洗ひ、その心をノミとして顔を彫って
いけば、自分という人間を磨いていけるという
教えです。

院長、拝